

呉市教育委員会会議録
(令和5年8月24日臨時会)

呉市教育委員会

呉市教育委員会会議録
令和5年8月24日臨時会

- 1 開催日時 令和5年8月24日（木） 10：00開会
16：17閉会
- 2 開催場所 754会議室（呉市役所7階）
- 3 出席委員 教育長 寺本有伸
教育長職務代理者 森尾敬介
委員 佐々木元
委員 吉中由美子
欠席委員 委員 辻佑子
- 4 出席職員 教育部長 高橋伸治
教育総務課長 横田三奈
学校教育課長 木屋善貴
学校安全課長 伊藤賀世
学教安全課課長補佐 田村峡平
学校教育課主査 藤井眞實
学校教育課主査 本谷彰弘
教育総務課主査 杉本聖継
- 5 説明員 小田浩（呉高等学校校長），高尾千草（長迫小学校校長），後東貴之（広小学校校長），横山眞澄（呉中央小学校校長），平岡恵美子（明德小学校校長），清水晃子（和庄小学校校長），曾根智恵（本通小学校校長），大窪健（警固屋小学校校長），木村智子（仁方小学校校長），税所正紀（吉浦小学校校長），森田修一（川尻小学校校長），山田幸治（広南小学校校長）
- 6 傍聴者 18人
- 7 日 程
 - (1) 会期決定について
 - (2) 前回会議の報告
 - (3) 教議第35号 令和6年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について
 - (4) 教議第36号 令和6年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について
 - (5) 教議第37号 令和6年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））の採択について

(10:00)

教 育 長 それでは、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、これより臨時会を開会します。

本日、辻委員から欠席の届出がなされておりますことを、御報告します。

日程第1の「会期決定について」を議題とします。

お諮りします。会期は、本日1日としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしと認めます。

よって会期は、本日1日と決定されました。

本日の会議録署名委員は、森尾委員・佐々木委員にお願いいたします。

それでは、日程第2の「前回会議の報告」を求めます。

杉 本 主 査 (令和5年7月24日定例会について報告)

教 育 長 本日提出された各議題の教科用図書の採択につきましては、今年度も、透明性の確保に重きを置いて公開としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、本日の議題についてはそのように決定されました。

教議第35号 令和6年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について

教 育 長 これより、日程第3の教議第35号「令和6年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、選定委員の代表である呉高等学校長から総括説明を求めます。

小 田 校 長 教議第35号「令和6年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」御説明いたします。

まず、呉高等学校の教育課程等について簡単に御説明いたします。

呉高等学校は総合学科で、進学から就職まで様々な進路希望を持った生徒が入学してきます。この多様な進路希望に対応するために、生徒自らが学びをデザインできる教育課程を編成しています。

お配りしております令和5年度学校案内をお開きください。「令和5年度入学生教育課程表」を御説明いたします。1年次では、音楽、美術、書道の芸術選択科目以外は全員が共通の科目を履修し、2年次からは選択科目が入ってきます。ページ中央には、系列と主な選択科目を示しております。

このように、幅広く用意された選択科目から、生徒一人一人が進路希望に応じた科目を選択し、自らが学びをデザインしながら、進路実現を図ることができるように、総合学科である本校の特徴があります。

続いて、今年度の採択の方針について、簡単に御説明いたします。

ホッチキスで閉じております教議第35号の資料を御覧ください。

1ページには「呉市教科用図書の採択に関する規程」、3ページには「令和6

年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について」、4ページには「呉市立呉高等学校教科用図書の採択に関する要綱」、5ページには「教科用図書採択の手順【呉高等学校】」をお示ししております。

資料の6ページを御覧ください。「令和6年度使用高等学校用教科書の種類数・点数一覧」でございます。

呉高等学校の教科書選定に当たりましては、全ての学年が第1部の教科書から選定を行っております。

8ページを御覧ください。今年度の選定委員会等についてまとめたものでございます。選定委員会は、校長、教頭、事務長の計3名で構成し、4にありますとおり、選定委員会を2回開催いたしました。この会議は教育委員の方々にも傍聴していただきました。

それでは、教議第35号の表紙をめくった最初のページを御覧ください。このページと次のページにかけてお示ししておりますものが、選定委員会が選定した教科用図書の一覧でございます。本日は、これらの教科書について、一括して採択していただきたいと存じます。

総括説明は、以上でございます。

教 育 長 総括説明について、御質問がありましたらお願いいたします。
(なしの声)

教 育 長 それでは、先ほどの総括説明を受けまして、呉高等学校で令和6年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたいと思います。
これに御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、呉高等学校で令和6年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、選定委員の代表である呉高等学校長の説明を求めます。

小 田 校 長 それでは、9ページからの「令和6年度使用教科用図書選定理由書」を基に、選定した教科書の特徴について御説明いたします。

一番右の欄、選定理由は、選定する教科書がどのような特色があるのか、教科・科目の目標の達成に向けて、自校の生徒の実態を踏まえ、その教科書が適切であるかという視点から記述しています。

全部で、56種ございます。

来年度で全ての学年が新教育課程となります。1，2年次の教科書は既に使用しており、来年度は一部の教科書を除き変更はありません。3年次の教科書については、新たに選定しております。全てを説明できませんので、新たに選定する3年次の2科目及び昨年度より使用している2年次の1科目について説明させていただきます。

一つ目は、資料11ページの一番下にある数学Ⅲです。3年次の選択科目です。数研出版の「高等学校数学Ⅲ」を選定しました。

数研出版の高等学校シリーズは、確実な知識・技能が身に付き、思考力・判断力・表現力の育成ができ、自ら学びを深めるための工夫がされた、これからの入試への対策の工夫がされた教科書です。

特に、数学Ⅲは、大学で数学が必要であろう理系の生徒が選択するため、思考

力・判断力・表現力を付けるための問題や大学の数学を意識した問題が、総合問題として巻末に掲載されております。また、各単元のポイントごとに「深める」問題が設定されており、より高度な問題演習を対話的・協働的に展開することもできます。

さらに、コラムが充実しており、その中に演習問題を加えることで、より高度な内容を演習することもできるようになっています。そのほかにも、二次元コードを活用できるように編集されており、二次元コードを読み取ると様々なコンテンツを利用でき、個別最適な学習ができます。

ここで、教科書の44ページに記載してある「フラクタル図形」について表示します。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

図形の動きを言葉だけでなく、視覚的に理解することができ、イメージをつかみやすくなり、理解の促進に役立つと考えます。

以上のように、様々な方法でより多くの問題や数学に触れることができることを評価し、本教科書を選定しました。

二つ目は、資料13ページの化学です。

東京書籍の化学vol. 1 理論編, vol. 2 物質編を選定しました。2年, 3年次に継続履修する科目です。

課題を明確にし、思考力を育み、実験を通して観察力・思考力・表現力をアップさせる配置となっており、様々な学習場面で主体的に学習に取り組むことができる要素が満載の教科書です。各節ごとに「Let's start!」「?(学習の問い)」と表記されており、ポイントが分かりやすく構成されています。また、日常生活と化学をつなげる工夫がなされており、日常生活の中にどのように化学が応用されているかが分かりやすく構成されています。数学Ⅲと同様、二次元コードを読み取ることで、様々なコンテンツを活用することができます。

ここで、vol. 1 理論編の教科書の107ページに記載してある実験の「ルミノールの化学発光を観察しよう」について表示します。画面を御覧ください。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

このように動画を活用することで、実験の映像を繰り返し見たり、場面を止めて考えさせたりすることが可能です。生徒の理解に応じてICT機器を活用することで、個別最適な学びの充実にもつながると考えます。

以上のようなことを評価し、本教科書を選定しました。

三つ目は、資料15ページの四つ目にあります英語コミュニケーションⅢです。数学Ⅲと同様、3年次の選択科目です。

啓林館の「LANDMARK Fit English CommunicationⅢ」を選定いたしました。

この教科書の優れた点は、2年次の英語コミュニケーションⅡから連動したstage 1と、大学入試への準備を意識したstage 2から構成されており、その中で英語の4技能、①聞く、②読む、③話す、④書く、そして5領域がバランスよく網羅されている構成となっている点です。また、各単元でSDGsに関する題材が多く取り入れられており、高校生の知的興味を強く喚起するとともに、教科横断的な学びへの発展につながる内容となっております。

さらに、淡い色使いで目に優しい配慮も見られ、ユニバーサルデザインを意識

したつくりになっております。

以上のような特徴があることを高く評価し、本教科書を選定しました。

以上、三つの科目を例として御説明いたしました。それ以外の科目につきましても、同様の視点で調査・研究し、使用することが適切であると判断したものでございます。

それでは、しばらく時間をとりますので、教科書を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

それでは、再度、表紙の次のページからの教議第35号「令和6年度使用教科用図書(呉市立呉高等学校)の採択について」の議案書を御覧ください。

議題にありますとおり、各種目の教科書を採択することにつきまして、御審議のほど、よろしく申し上げます。

教 育 長 これについて、御質問がありましたらお願いいたします。

佐々木委員 数学Ⅲの説明で、大学で数学が必要であろう理系の生徒が選択するという説明がありました。数学Ⅲの内容はかなり専門的で難しいのではないかと思います。一人一人の学力に応じた工夫がどのようにされていますか。

小 田 校 長 実際の教科書で説明します。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

このように例題を示しております。その後、練習問題として類似問題を解いていきます。さらに、応用問題というように発展をする形での教科書の構成となっております。

さらに、次のページには「深める」というような問題を提示してあります。これによりまして、難易度の高い問題を相互で話し合いながら解くことを行うなどにより、対話的で協働的な学びを推進します。

さらに、二次元コードを読み込みますと、それぞれの單元ごとに動画や問題が編集されておりまして、自分の課題に応じて繰り返し公式や用語の解説を見たり聞いたりすることができ、ICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びにつながると考えています。

佐々木委員 例題から応用まで分かりやすく、二次元コードを利用して、個別に最適な学びにつなげることができるという工夫がされており、良いかと思います。

吉 中 委 員 化学の説明の中で、「日常生活と化学をつなげる工夫がされており、日常生活の中にどのように応用されているか分かりやすく構成されている。」とありました。学校生活の学びが日常生活につながるということは、とても大切なことであると思いますが、教科書には実際にどのような例がありますか。

小 田 校 長 本教科書では、コラムとして様々なコンテンツがあるのですが、日常生活との関わりや環境、化学史、他教科との関連ということではいろいろな形で活用できるようになっております。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

ここでは、このように、クールパックとヒートパックの内容が記載されています。

日常生活との関連ということであれば、昨日甲子園で高校野球の大会がありましたが、我々の時代とは違い、選手がベンチで首元にアイスパックを装着しながら身体を冷やすことで、熱中症対策を行っています。生徒には、そういった日常

生活に関連したことについて分かりやすく説明すれば、興味を持ってもらえるのではないかと思います。

また、ヒートパックについては、防災教育、特に災害時に電気であったり、火を使ったりできなくても温めた食事が取れるといったように、日常生活と関連付けながら生徒の興味・関心を高めていくといったコラムが充実した教科書であると思います。

吉中委員 実際には、学校で、教科書で習うことと身近にあることとの関連が、こういった二次元コードなどでも分かりやすく見ることができるということで、生徒の興味・関心が高まると思われました。

森尾委員 外国語の説明で、英語の4技能そして5領域を意識したつくりになっているという説明がありました。具体的にはどのようなものになるのか教えてください。

小田校長 こちらも教科書で説明します。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

stage 1の構成として、「Reading Aloud」ということで、読むことのポイントに注意しながら、目的に応じて、実際に声に出して本文を読む設定になっております。

次の段階で「Finish Up」として、図又は表を用いて先ほどの本文をまとめて完成させるといった形で問題を解くことで、本文の概要や要点を整理しながら、発表するということで、読むこと、話すこと、その中で、生徒間のやり取りを促す構成になっています。

さらに、「OUTPUT」は、レッスンのトピックに沿った形で、聞く、書く、生徒同士がやり取りをして話す、といった総合的な活動のページになっております。

最終的には、「More Information」ということで、写真・図・イラストなどを参考にしながら、例えば、「あなたの地域をより良くするためには、何ができますか。」というような課題を取り出して、実際に英語でやり取りをしたり、書いたり発表したりすることによって、総合的な先ほど申しました「4技能5領域についての育成を図る。」といった教科書のつくりとなっております。

森尾委員 市立呉高校の生徒の実態に合わせた教科書ではないかと思います。

佐々木委員 選定委員会も傍聴させていただきましたが、選定委員の皆さんもしっかり討議されており、納得できるものでありました。今日も説明を伺いまして、問題ないかと思います。

教育長 ほかに御発言はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、呉高等学校で令和6年度に使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、よって、呉高等学校で令和6年度に使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。

説明員が交代いたします。

教議第 36 号 令和 6 年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について

教 育 長 それでは、日程第 4 の教議第 36 号「令和 6 年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、事務局から総括説明を求めます。

伊 藤 課 長 教議第 36 号「令和 6 年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」御説明いたします。

特別な教育課程を編成している特別支援学級では、児童生徒の実態に合わせ、適切な教科用図書を、毎年、採択することとなっております。

採択基準につきましては、資料 1 を御覧ください。

2 ページの 2 の方法、組織及び手続の (3) アにありますように、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による教科用図書」の 3 種類の中から採択することとなっております。

まず、この 3 種類の教科用図書について御説明いたします。

一つ目は、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」でございますが、これは「検定済教科用図書」ともいいます。

特別支援学級では、教科用図書として、まず当該学年の「検定済教科用図書」が適当かどうかを、児童生徒の実態から審議し、適当でないときは、下学年用「検定済教科用図書」について審議いたします。

二つ目は、「文部科学省著作教科用図書」でございます。これは、知的障害の特別支援学校用の教科用図書で、「著作教科用図書」と呼んでおります。また、星印が付いていることから、「星本」とも呼んでおります。

資料 2 を御覧ください。この「著作教科用図書」は、これまで国語、算数・数学、音楽についてのみ発行されておりましたが、この度の採択から生活が発行されております。発行元は、生活、国語、音楽が東京書籍、算数・数学が教育出版です。

1 から 57 ページに、特別支援学校学習指導要領に記載されている生活科の目標と内容を三つの段階で、国語科、算数科・数学科、音楽科の各目標と内容を五つの段階で示しております。星の数は、その段階を表しており、星の数が増えるほど学習内容は難しくなります。

先ほどの「検定済教科用図書」が適当でないときに、「著作教科用図書」を参考にし、児童生徒の実態に合ったものを選定しております。

お手元に、黄色の付箋を付けた「著作教科用図書」を 2 冊用意しております。しばらく御覧ください。

（しばらく時間をとる。）

伊 藤 課 長 三つ目は、「学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による教科用図書」でございます。これを「一般図書」と呼んでおります。資料 3 を御覧ください。

元々は、教科書として作成されたものではない図書ですが、児童生徒の実態によっては、教科書の役割を果たすものとして認められた教科用図書でございます。

す。

3ページから56ページまで、「令和5年度用一般図書契約予定一覧」を載せております。

児童生徒の実態から、「検定済教科用図書」及び「著作教科用図書」が適当でない場合に、この「一般図書」を選定することとなります。

お手元に、黄緑色の付箋を付けた「一般図書」を2冊用意しております。しばらく御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

伊藤課長 以上3種類の教科用図書のうち、教科ごとにいずれか1種類を使用することとなっております。

選定に当たりましては、資料1の3ページに載せております手順に従い、学校ごとに選定理由を慎重に審議させ、5から8ページに載せております様式により提出させております。

本日は、学校から提出された特別支援学級に在籍する児童生徒の教科用図書のうち、「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」について、一括して採択していただきたいと存じます。

よろしく願いいたします。

教育長 それでは、ただいまの総括説明を受けまして、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたと思います。これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、事務局の説明を求めます。

伊藤課長 各小・中・義務教育学校が選定した教科用図書「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」につきましては、教議第36号「令和6年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」にありますように、1に「文部科学省著作教科用図書」を示し、次のページの2に「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）」を一覧表にして示しております。

一覧表は、「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）」について、左から、教科名・種目名、発行者の略称、図書名の順にまとめており、(1)が小学校、3枚めくっていただいた(2)が中学校となっております。

それでは、選定の詳細について、資料4の1ページを御覧ください。小学校知的障害特別支援学級第2学年の児童の選定理由書を例に、御説明いたします。

まず、図画工作は小学1・2年の「検定済教科用図書」を継続使用、音楽は小学2年の「検定済教科用図書」を選定しております。

次に、国語及び算数は「著作教科用図書」の星二つを選定しております。

生活及び道徳につきましては、「一般図書」から選定しております。これらの「一般図書」は、いずれも資料3にございます、「令和5年度用一般図書契約予定一覧」の中から選定しております。

それぞれの選定理由を表の右側「選定理由」の欄に記載し、報告を受けており

ます。

以上のように、児童生徒が使用する教科用図書につきましては、「検定済教科用図書」「著作教科用図書」「一般図書」の中から、児童生徒の実態に応じて、適切に選定しております。

御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

教 育 長 これについて、御質問がありましたらお願ひいたします。

吉 中 委 員 先ほど資料4の1ページにあります、選定理由書を例にして選定の詳細について説明がありましたが、選定理由書の左上に教育課程(3)と書かれてありますが、教育課程(3)というのはどのような実態の児童生徒が対象なのでしょう。

伊 藤 課 長 教育課程(3)は、知的障害のある児童生徒が対象となります。

ちなみに、教育課程(1)及び(2)は知的障害のない児童生徒が対象となり、当該学年の目標・内容を指導する場合は教育課程(1)、当該学年の目標・内容を指導しますが、必要な場合は、下学年の目標と内容に替えることもできるのが、教育課程(2)でございます。

森 尾 委 員 この選定理由書を見ますと、生活のみ、2冊が選定されていますが、1教科に対して2冊を選定することができるのでしょうか。

伊 藤 課 長 広島県教育委員会が作成した特別支援教育ハンドブックには、一般図書を使用する場合について、特別支援学校(知的障害)小学部生活科の教科書給与として、第2学年は、2種類2冊までを選定できると示されているため、先ほど見ていただいた選定理由書も、生活については、2冊の一般図書が選定されております。

佐々木委員 生活科の「著作教科用図書」が新しく発行されるということですが、この度「せいかつ」の星本を選定した学校は、ありますか。学校数が分かれば教えてください。

伊 藤 課 長 この度は、3校が選定しております。

佐々木委員 初めて拝見いたしました。安全に学校生活を送るために大切な内容や日常生活で必要なこと、また、家族、先生、友達との関わりの中で大切にしたいことなど、まさに生活に関する内容が幅広く取り扱われていて、内容が大変充実している印象を持ちました。

今後、この「せいかつ」の星本については、先生方に御理解いただき、子供たちの障害の状態や特性等を十分に考慮した上で、選択肢の一つとなっていくことに期待したいと思っておりました。

教 育 長 ほかに御発言はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和6年度に呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。

ここで休憩を取ります。

(10:57)

教議第 37 号 令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））の採択について

(11:10)

教 育 長

それでは、再開します。

それでは、日程第 5 の教議第 37 号「令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、事務局からの総括説明を求めます。

木 屋 課 長

教議第 37 号「令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））の採択について」御説明いたします。

お手元にございます A 4 縦の資料を 1 枚めくっていただいて、資料の 1 ページ「教科用図書採択スケジュール」を御覧ください。

小・中学校の教科用図書の採択は、通常 4 年ごとに実施しております。小学校につきましては、平成 29 年度には、道徳が教科となりましたので、「特別の教科道徳」のみの採択を実施いたしました。そして、平成 30 年度には「特別の教科道徳」を除いた教科用図書について、4 年に一度の採択を実施しております。

さらに、令和元年度は、学習指導要領の改訂に伴い「特別の教科 道徳」と新たに教科となった英語を含め、全ての教科用図書の採択を実施しております。

今年度は、令和元年の採択から 4 年目となるため、全ての教科用図書の採択事務を行うこととなります。

採択の手續につきましては、先ほど、呉高等学校の資料にございました「呉市教科用図書の採択に関する規程」、資料 3 ページ「令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））の採択手續について」、そして、資料 4 から 5 ページ「令和 6 年度に呉市立小学校、中学校及び義務教育学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について」及び資料 6 から 7 ページ「令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））採択のための調査・研究要項」を基に、調査・研究委員の部会を 3 回、選定委員会を 2 回実施いたしました。

調査・研究委員の部会、選定委員会では、教科書目録に登載されている見本本について、調査・研究、討議を行いました。その際、本日別冊でお配りしております広島県教育委員会の「選定資料」も参考にしておりますことを申し添えます。

そして、お手元にございます別冊資料「令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））総合所見」が、8 月 18 日に選定委員長から教育長への報告の際に提出された総合所見でございます。

本日は、選定委員会委員から、各種目の総合所見の内容について説明させていただきます。

御審議のほど、よろしくお願いたします。

教 育 長

ただいまの総括説明を受けまして、令和 6 年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））については、種目ごとに採択することにしたいと思えます。これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和6年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））については、種目ごとに採択することと決定されました。

それでは、国語から順に、選定委員の説明をお願いします。

高 尾 校 長 国語の総合所見一覧について報告を行います。資料は1ページです。

国語は、東書、教出、光村の3者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるためには、児童に各単元で身に付ける内容を意識したり、単元の学習後、学んだことを振り返らせたりすることが大切です。

全者とも、単元の冒頭に目標が示されています。また、単元末には、まとめのページが設けられています。

中でも東書と光村は、二次元コードを設けることで、Web上に掲載された「これまで学んだ言葉」を確認できる工夫がされており、語彙の定着や拡充に効果が期待できます。さらに、東書は、「読むこと」の領域で教材文の前に単元の導入ページがあり、目標と具体的な「めあて」が示されています。そして、単元末に目標とする力を身に付けるためのポイントが示され、どのような力が付いたのか振り返るようページをとっています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

現行の学習指導要領では、国語で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、これまで以上に課題解決の活動に重点が置かれています。そのため、全者とも学習の過程がタイトルや文章等で示され、どのように学習して、どんな力が付いたのか振り返ることができるようになっています。

中でも、東書と光村は、学習への意欲が高まるように見通す場面で教材への興味・関心を高めたり、問いを持たせたりする工夫がされており、児童の課題解決の力の育成に効果が期待できます。

三つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

全者とも、領域ごとのバランスがとれたページ数となっています。中でも、東書は、配列の特徴に工夫が見られます。東書では、「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」が配置され、両単元を関連させる学習が設定されています。国語の学習では、児童が複数の領域を関連付けて捉え、学習を進めていくことも大切です。そういった視点で言いますと、東書のこの特徴は、児童に国語科の資質・能力を育成する上で効果が期待できると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、国語の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

（しばらく時間をとる。）

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

森 尾 委 員 観点2で東書と光村に工夫があると説明がありましたが、具体的に説明していただけますか。

- 高尾校長 特に工夫が見られた光村と東書の教科書を使って、御説明します。
- 光村は、第3学年の下巻、134ページを御覧ください。こちらに、学習の過程が示されています。まず始めに「問いをもとう」という言葉があり、児童に問いを提示し、その次に「もくひょう」という言葉があり、問いから目標へとつなげています。1の「問いをもとう」で児童に問いを提示し2の「もくひょう」で問いから目標へつないでいきます。それから、「とらえよう」「まとめよう」「ひろげよう」とありますが、ここで学習の流れ、課題解決の過程が示されています。
- 次に、東書ですが、第3学年の下巻、38ページを御覧ください。光村と同じ教材ですが、教材の前に「見通す」という言葉があり、子供のイラストがあり、吹き出しの中に児童の問いが提示されており、課題意識を高める工夫をしております。続いて54ページになりますが、どのように取り組んでいけばいいのか、課題解決の工夫がなされています。
- このような工夫が、児童の課題解決の力の育成につながると考えます。
- 佐々木委員 タブレット端末が導入されて、教科書から色々な情報を見ることができるようになってきていると思います。先ほどの観点1の説明の中で、「二次元コードを読み取ってこれまで学んだ言葉を確認できる」とありましたが、どんな内容を見ることができるのでしょうか。
- 高尾校長 二次元コードを設けているのが光村と東書の教科書ですので、これを使って御説明します。両者とも第2学年の下巻を御用意ください。まず光村ですが、第2学年の下巻、165ページを御覧ください。
- こちらに二次元コードがあり、読み取ります。
- (タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)
- 人物を表す言葉、物の様子を表す言葉、気持ちを表す言葉、画面には1年下のものが表示されています。この中の矢印をクリックしますと2年上の内容が表示されます。人物を表す言葉、物の様子を表す言葉、気持ちを表す言葉、このように、以前学習した言葉を見ることができます。
- 次に、東書ですが、第2学年の下巻、150ページです。同様の二次元コードがあります。こちらにある二次元コードを読み取ります。
- (タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)
- このように、一覧が出てまいります。東書は2学年のものが出てくるとともに、国語が苦手な児童が、1学年前の学年に戻って、学習や、苦手なところを理解することができます。また、国語が得意な児童は3学年の学習など、上の学年を選択するということが可能になっております。
- このように、他の学年で学習する言葉も見ることができ、児童の理解に応じた柔軟な使い方ができるのではないかと考えております。
- 佐々木委員 総合所見の説明と質問しました答えを伺いまして、東書に良い特徴があると思います。
- 吉中委員 私も東書に良い特徴があると思いました。
- 教育長 ほかに御意見はありませんか。
- (なしの声)
- 教育長 御発言なしということで、お諮りします。
- ここまでの協議を踏まえると、国語については東京書籍の教科用図書を採択す

ることに、御異議はございませんか

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、国語については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、書写について選定委員からの説明をお願いします。

高 尾 校 長 書写の総合所見一覧について報告を行います。資料は2ページです。

書写は、東書、教出、光村の3者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる二つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

書写で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、学習者である児童にどのように課題意識を持たせるか、そして課題解決に向けてどのように学習を展開するかが大切です。各者とも、学習の過程がキーワードで示されていますが、中でも東書は、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」といった各過程を示す言葉に加え、①②③のように番号で手順が示されており、児童は見通しを持って学習に臨むことが期待できます。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

書写の学習において、その歴史や、様々な文字文化について学ぶことは大切なことです。このことについては、各者とも、全学年で様々な資料が掲載される等工夫されています。

一方、毛筆・硬筆などを通して、日本の文字文化について学ぶことが主体の書写ですが、グローバル化が進む昨今の世界情勢を鑑みますと、海外の文字文化にも興味を持ち、学ぼうとする姿勢は大切です。海外の文字文化を知ることで、比較し、かえって我が国の文字文化に対する理解が深まることもあるかもしれません。そういった点で言いますと、東書、教出では、挨拶の紹介等を通して、海外の文字文化に触れる資料が掲載されており、児童の興味・関心を高めることが期待できます。さらに東書では、教材として漢詩や漢文が取り上げられており、海外の文字文化に触れる機会をより多くとることができると思います。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、書写の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 書写といえば、鉛筆や筆を持ち、日本の文字を書くというイメージがありますが、今、説明を伺いまして、日本の文字文化だけでなく、海外の文字文化について学ぶという視点はすごく新鮮だと思いました。具体的にどのような例があるのか教えてください。

高 尾 校 長 それでは、教出の第5学年の巻末を御覧ください。「世界のこんにちは」として、中国語や韓国語、朝鮮語といった比較的私たちになじみがある文字はもちろんですが、ロシア語やポルトガル語、ヒンディー語といった文字も紹介されています。

続いて、東書の第5学年の38ページを御覧ください。「世界の文字いろいろ」

として、見開きで大きく示してあります。ここでは、各国の文字はもちろんですが、その言語についての簡単な説明もあります。児童にとっては、海外の文字文化について興味を持ちやすいと考えます。そして、先ほど説明しましたように、海外の文字文化を知り、日本の文字文化と比較することにより、我が国の文字文化に対する理解が深まるのではないかと考えます。

佐々木委員 特徴のある内容だと思いました。今、両者の比較の説明を受けて、東書の「世界の文字のいろいろ」の方が受け入れやすいと思いました。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、書写については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、書写については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

後 東 校 長 続いて、社会について選定委員からの説明をお願いします。
社会の総合所見一覧について報告を行います。資料は3ページです。
社会は、東書、教出、日文の3者から発行されています。
本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるためには、各単元の始めにおいて、興味・関心を持たせる導入をするとともに、児童に学習の見通しを持たせ、どのような力を付けることが必要かを明確にすることが必要です。

各者とも、1時間ごとの学習問題が明記されている等の工夫がありますが、中でも、東書、教出は、「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程が示されており、児童に学習の進め方を意識しやすくする工夫がされています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

各者とも、大単元の導入において、写真やイラスト等が効果的に提示されているなど、ぱっと見て興味・関心を引き起こさせる工夫がされています。

興味・関心という点で言いますと、やはり地元である広島県、呉市に関する記載があると、児童は授業の中でも反応するものです。そういう観点では、東書では、広島県の題材が、複数の学年において豊富に掲載されており、主体的な学習を促しやすいと考えます。

三つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

今年も日本各地で豪雨災害が起こり、被害が多数出てしまいました。もはや日本のどこに住んでいようとも、自然災害と無縁で生きていくことは難しいのではないかと思います。そうした状況にあって、社会科の授業で、自然災害について学ぶことの意義はとても大きいものです。

各者とも、ハザードマップ等、災害に備える工夫が紹介されていますが、中でも東書では、災害時にどのような行動をとるかあらかじめ想定しておく「マイ・タイムライン」を作成させるなど、児童の防災意識を高めさせやすい工夫があり

ます。

以上述べましたとおり、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、社会の説明を終わります。

教 育 長 少時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 先ほどの選定委員の説明では、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」において、東書は主体的な学習を促しやすいとありました。

総合所見を見ると、どの者にも広島県を題材とした内容が掲載されているようですが、なぜ東書が主体的な学習を促しやすいと考えられたのでしょうか。

後 東 校 長 社会科の授業では、幅広い分野を学習することになります。内容によっては、児童にとって「ちょっとほど遠いな」とか「分かりにくいな」ということがあります。また、関心が持ちにくいということもあります。

そういったときに、自分事として捉えるためには、広島県や呉市の記載が多い、そういった社会の教科書が意欲的に取り組みやすくなります。広島県や呉市のことが記載されている箇所を全て拾ってみたのですが、やはり東京書籍には記載箇所が多く、慣れ親しんだ広島県や呉市が多くある東書を使用することで児童の関心も高められ、積極的に取り組むのではないかと考えます。

また、それが主体的に学習に取り組む工夫につながっていくと考えております。

吉 中 委 員 どの者も広島県や呉市を題材にした内容が記載されていますが、全てを確認したところ、東書がほかより子供たちの関心を持ってもらえるのではないかということですね。分かりました。

佐々木委員 選定委員の説明の中で、自然災害について学ぶことの意義を述べられていました。まさにそのとおりだと思います。平成30年の豪雨災害を思い返しても、呉の子供たちが災害の起こり方や、防災の知識を正しく持つておくことは、とても大切だと思います。総合所見を見ますと、各者とも災害に備える工夫が紹介されているとありますが、もう少し具体的な例を紹介してください。

後 東 校 長 それでは、教科書を使って御説明します。

まず、教出の第4学年、102、103ページを御覧ください。「逃げどきマップ」という名前で、三条市のハザードマップが紹介されています。

次に、日文の第4学年、90、91ページを御覧ください。杉並区の水害ハザードマップが紹介されています。

最後に、東書の第4学年、80、81ページを御覧ください。千葉市のハザードマップが紹介されています。しかし、東書にはそれだけではなく、「マイ・タイムライン」のことに紹介しているページがあります。88、89ページを御覧ください。児童自身が書き込むことによって、当事者意識を持って学習するということが、この「マイ・タイムライン」のページでできるのではないかと考えております。

佐々木委員 3者とも分かりやすい内容だと思います。災害を正しく楽しく学ぶということも大切なことで、子供たちが自分の命を守ることもそうですが、災害後の立ち上がっていく力も正しく学んでいくことが必要なのではないかと考えます。今の説

明を伺って、東書に良い特徴があるのかと思います。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、社会については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、社会については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、地図について選定委員からの説明をお願いします。

後 東 校 長 地図の総合所見一覧について報告を行います。資料は4ページです。

地図は、東書、帝国の2者から発行されています。

今日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

帝国は、「地図マスターへの道」というコーナーを随所に設け、疑問を投げ掛けるなど、地図への関心を高める工夫があります。また、呉市の地名や農産物・工業製品等が詳しく掲載されており、呉市の児童の興味・関心がより高まる内容になっています。

さらに、「日本の自然災害と防災(2)」で、各地の防災の取組や防災マップづくりの手順が掲載されており、呉市の防災教育で大切にしている「自分の命は自分で守る力」の育成に効果が期待できると考えます。

二つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

どちらの者も、円グラフと帯グラフに文字や数値を入れて表記するなど、読み取りやすくする工夫が見られますが、東書は、棒グラフを含め、視認性を高めるために、一部の文字を太字にするなどの工夫があり、視覚的に分かりやすい表示の工夫が見られます。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

帝国は防災マップづくりに関して、地図の作品の例や表現する活動の例が詳しく示されており、児童の学習活動の参考にしやすいと考えます。

以上述べましたとおり、帝国に良い特徴が多いと考えます。

以上で、地図の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

森 尾 委 員 総合所見を見ますと、観点2において、どちらの発行者も地図の中に呉市の地名等が掲載されているとありますが、実際の地図帳ではどのように示されているのか教えていただけますか。

後 東 校 長 地図帳を使って御説明します。

まず、東書の25、26ページを御覧ください。安浦、川尻、音戸と地名が掲載されています。また、特産物といたしましてレモン、みかん等のイラストが掲載されております。

次に、帝国の43, 44ページを御覧ください。安浦, 川尻, 下蒲刈, 蒲刈, 豊浜, 豊, 広, 音戸, 倉橋と多く掲載されております。また, 特産物といたしましては, みかん, カキ, 造船などに加え, 「大和ミュージアム」や「音戸大橋」といった呉市民になじみの深いキーワードが多く掲載されています。

森尾委員 呉市のことがたくさん記載されていますと, 子供たちも興味を持って入りやすいと思います。

佐々木委員 先ほどの選定委員の説明の中で, 観点5について, 帝国は防災マップづくりが詳しく示されているとありました。社会科でも話題になりましたが, やはり防災について学ぶことは, 呉市の子供にとって大切だと思います。地図帳で実際にどのように示されているか, 具体的に教えてください。

後東校長 それでは, 帝国の101, 102ページを御覧ください。102ページに「防災マップづくり」として, 5段階のステップが示されています。この紙面だけでも分かりやすくまとめられていますが, それだけではなく, 二次元コードを使って児童が主体的に学ぶことができます。

ここで, 二次元コードを読み込んでみます。

(タブレット端末を操作し, プロジェクターで映す。)

児童のタブレット端末でも紙面と同じものを見ることができます。児童が自分でタブレット端末の画面を進めていきますと, 紙面より詳しく, 参考例などが表示されますので, 児童がより主体的に学習を進めることができると考えます。

佐々木委員 帝国に良い特徴があると思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで, お諮りします。

ここまでの協議を踏まえると, 地図については帝国書院の教科用図書を採択することに, 御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで, 地図については帝国書院の教科用図書を採択することに決定されました。

ここで休憩を取ります。

再開は, 13時10分です。

(休憩)

教育長 再開します。

続いて, 算数について選定委員からの説明をお願いします。

横山校長 算数の総合所見一覧について報告を行います。資料は5ページです。

算数は, 東書, 大日本, 学図, 教出, 啓林館, 日文の6者から発行されています。

本日は, 調査・研究した結果, 特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は, 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

現行の学習指導要領では, 「数学的な見方・考え方」を働かせた学習を展開するとともに, 学習指導の過程においては, 数学的に問題発見・解決する過程を重視するものとされています。そのため, どの者も, 問題解決までの過程で, 児童

の思考を深めるための発問や、「めあて」が示されています。

中でも、啓林館では、児童の思考の流れを考慮した題材が単元の導入で提示されており、児童は既習内容からのつながりを意識しながら、スムーズに問題解決に取り組むことができると考えます。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

算数科においては、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けるだけでなく、身に付けた知識及び技能を活用していくことも極めて重要です。そのため、どの者も、中学校の学習内容と関連する内容が示されています。

中でも、教出と啓林館と日文では、中学校だけでなく、高等学校の学習内容と関連する内容も示されています。さらに、啓林館では、算数や数学が活用されている職業の例が示されており、児童にとって学習が意味あるものとなり、数学の良さを実感を伴って味わう効果が期待できます。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

どの者も、二次元コードからコンテンツにアクセスできるようになっています。

中でも、東書と大日本と啓林館は、アクセスできる箇所が豊富に設けられているため、児童はこうしたデジタルコンテンツを効果的に活用しながら、算数に対する理解を深めていけるものと考えます。

以上述べましたように、啓林館に良い特徴が多いと考えます。

以上で、算数の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 タブレット端末が全ての児童生徒に配付されまして、教育現場でのICT活用が進んでいると聞いています。総合所見の観点2を見ますと、各者とも「プログラミングの体験が適切に設定されている」とありますが、算数科におけるプログラミングというのは、全学年に設定されているのでしょうか。また、どのような具体例があるのかも併せて教えてください。

横山校長 プログラミングの体験が、全学年に設定されている者は、大日本、学図、啓林館、日文の4者となります。その他の者は全学年ではありません。具体例として、どの者にも掲載されている5年生の正多角形のところを御紹介します。

啓林館5年生、242ページを御覧ください。例えば、「何cm進む」や「何度回る」「何回繰り返す」などの命令を組み合わせて、正多角形を描くプログラムを作る学習です。児童は、このような活動を行うことで、問題の解決には必要な手順があることや、正確な繰り返しが必要な作業を行うときにはコンピューターを用いると大変良いということに気付くことができると考えます。

吉中委員 先ほどの選定委員からの説明の中で、観点2について、啓林館は「児童の思考の流れを考慮した題材が単元の導入で提示されている。」とありました。選定委員会に出席させていただいた時には、三角形の面積の求め方の学習を具体例で挙げられていたと思います。多くの発行者が平行四辺形から三角形の面積を求める単元構成になっている中で、啓林館のみ直角三角形から面積を求める流れになっていると説明されていました。こうした既習事項から問題解決に取り組む場合

と、そうでない場合の流れを比べたときに、児童の思考にどのような違いが生じるのか教えていただけますか。

横山校長 児童の思考の流れについてですが、啓林館5年生で説明させていただきます。

135ページを御覧ください。5年生の学習では、4年生で学習した長方形や正方形の面積の学習を踏まえて、新しい公式をつくり出す過程を重視しています。啓林館のみ直角三角形から面積を求めるという流れとなっておりますが、この直角三角形は、2倍すると長方形や正方形になるのが視覚的に分かりやすく、児童が解決の見通しをイメージしながら、主体的に学びを進めることができるのではないかと考えます。また、底辺と高さを捉えるときに、平行四辺形よりも直角三角形の方が、底辺に対する垂直の関係がとても分かりやすいということがありますので、児童にとって捉えやすいのではないかと考えられます。よって、直角三角形の面積の求め方から学習を進めることで、新たな問題を解決するときに、児童も自分でイメージを持って、見通しを持って解決しやすいと考えております。

吉中委員 既習内容から取り組むことで、児童たちが自分で解決の見通しを持ってイメージしながら、主体的に学びを進められるということですね。今の説明と総合所見を伺いまして、私も総合的に判断して、啓林館に良い特徴が多いと思いました。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、算数については啓林館の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、算数については啓林館の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、理科について選定委員からの説明をお願いします。

平岡校長 理科の総合所見一覧について報告を行います。資料は6ページです。

理科は、東書、大日本、学図、教出、信教、啓林館の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるためには、各単元の始めにおいて興味・関心を持たせる導入を行ったり、単元の学習後、児童に学んだことを振り返らせたりすることが大切です。各者とも、大きな写真や問い掛けを示して導入の工夫を図ったり、単元末にまとめや振り返りのページを設けたりしています。

中でも教出、啓林館は、振り返りのページ内で新しく学習した言葉が示されています。理科は観察・実験を通して科学的思考力を育てていく教科ではありますが、専門的な用語を用いて説明する学習も欠かせません。今述べました2者の工夫は、児童の知識定着に効果が期待できます。さらに、啓林館は、「ふり返ろうまとめノート」とタイトルにあるように、振り返りのページが、児童が記述したノート風に示されています。単元の学習終了後、児童がこのページを参考にする

自ら疑問を抱き、それに対して「きつとこういう理由ではないかな。」と自分なりに予想や仮説を立てて、その仮説が正しいかどうか、必要な観察や実験を行う、という一連の学習の流れのことをいいます。一昔前は吉中委員が言われたように先生がやり方を事細かく指示し、児童に危なげなく問題解決の流れを踏ませる、という授業が多く見られていました。しかし、改訂された学習指導要領にもうたわれておりますように、本来、問題解決の主体は先生ではなく、児童でなければいけません。そのため、昨今の授業の中では、例えば実験を始める前に、先生が児童に「どんな結果が出るとお思いますか。」と問い、見通しを持たせた上で実験を始めさせるなど、少しでも児童が自分事として問題解決を進められるような工夫が多く見られるようになってきました。

吉中委員 子供たちが自分なりに疑問を持って、それを、実験などを通して自分事として解決していくことが大切だということですね。よく分かりました。

続けて教えていただきたいのですが、先ほどの選定委員の説明の中にも、子供主体の問題解決を後押しするような教科書の工夫があると言われていましたが、具体的にどんな工夫があるか教えてください。

平岡校長 それでは、実際に教科書をお示しながら御説明します。

まず、東書の第5学年、24ページを御覧ください。これは植物の種が発芽する条件を調べる実験ですが、表形式で実験方法の整理の仕方が例示されています。表の右側に「結果の見通し」という欄があります。このような欄があることで、児童は「この実験はこういう結果になるはず」と見通しを持ち、主体的に問題の解決に迫ることができると思います。

次に、学図の第5学年、24ページを御覧ください。先ほど御説明した実験と同様のものですが、実験方法の整理の仕方について表形式で例示されています。表の1番下段を御覧いただきますと、「結果の予想」という欄が設けられています。

最後に、啓林館の第5学年、35ページを御覧ください。こちらでも表の形で実験方法が整理されるように示されています。下から2段目に「結果の予想」という欄が設けられています。そのすぐ下の段に「結果（発芽した数）」という欄があります。これは、実際に実験をしてみたら得られた結果を記入する欄となっています。1ページめくっていただきまして、36ページを御覧ください。実験の結果として、先ほどの表を全て埋めてまとめられたものが、例として示されています。表の下2段を御覧いただきますと、実験の前に児童が「こうなるはず」と思った「結果の予想」と、実験後に実際に得られた結果を比較できるように工夫されています。このような工夫を通して、児童は自分の予想と結果が合っていたか、合っていなかったかが明確になり、「自分の予想は裏付けられた。」や、「自分の予想と実際の結果は違った。このことから何が言えるだろう。」といった、問題解決の過程を主体的に進めていく考えを持ちやすくなると思います。

吉中委員 実際の教科書を見せていただきながら説明していただくことで、よく分かりました。児童が見通しを持って主体的に問題解決ができるように、いろいろな工夫がされているということで、先ほど説明があったように、「予想と結果を比較する。」や「言語活動の充実を図る。」ということなど、総合的に判断して啓林館に良い特徴が多いのではないかと思います。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、理科については啓林館の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、理科については啓林館の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、生活について選定委員からの説明をお願いします。

清 水 校 長 生活の総合所見一覧について報告を行います。資料は7ページです。

生活は、東書、大日本、学図、教出、信教、光村、啓林館の7者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴がよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

生活の授業では、普段の生活の中にある事物を採り上げ、様々な体験を積み重ねながら、中学年以降の学習につながる素地を身に付けさせていきます。そうした学びを行う上で、やはり児童自らが興味を持ち、主体的に学ぼうとすることは大切なことです。各者とも、例えば単元の導入ページに大きな写真を掲載したり、野菜を栽培する単元でワークシートを例示したりしています。このワークシートには、各者とも、児童の気付きや感想の記述例も示されているのですが、中でも東書におけるワークシートの例では、この単元以前に学んだアサガオの栽培のことを思い出し、その時の様子と比べながら野菜の栽培への気付きを記述する内容になっています。

このような工夫により、児童に、今学んでいる単元のことのみならず、以前に学習したことと結び付けて思考を深めることを促しやすく、主体的な学びの実現に効果が期待できます。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

幼児期の教育を終え、小学校に入学してきた児童にとって、いわゆる「小1ギャップ」を感じることなく、円滑に小学校段階の生活・学習に慣れていくことは大切なことです。各者とも、複数のページで小学校生活を丁寧に紹介するなど、児童に安心感を与える工夫が見られますが、中でも東書、教出、啓林館では、入学前、幼稚園や保育所での生活を思い出させる写真や吹き出しが設けられており、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容が充実しています。園・所と小学校をつなぐ「スタートカリキュラム」の作成を行う教師にとっても、こうした工夫がある教科書は使いやすいと考えます。

最後に、観点4「内容の表現・表記」についてです。

生活科を学ぶのは低学年の児童ですから、いわゆる「とっつきやすさ」といいますか、「教科書を見たい」と思わせる工夫は大切だと思います。各者とも、カラフルなマークや親しみやすいキャラクターが示され、工夫が見られます。

中でも東書、啓林館では、「つながる国語」「書しゃ しょうたいじょう」といった、他教科との関連を示すマークが設けられており、児童に「今学んでいる

ことは、ほかの勉強にも使えることなんだな。」と感じさせる上で効果が期待できると考えます。

以上述べましたとおり、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、生活の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 先ほどの選定委員の説明の中で、野菜の栽培を行う单元において、東書では、アサガオの栽培のことを思い出させるようになっているとありましたが、その工夫があることで、児童の学びにはどのような効果があるのか、もう少し具体的に教えてください。

清 水 校 長 教科書を基に説明させていただきます。東書の下巻、13ページを御覧ください。

ページの右下に、ワークシートの例が示されています。児童の記述として、「アサガオと同じしちゅうだとミニトマトのはっぱが当たってしまいます。」という記述があります。ミニトマトを栽培する学習の中で、それ以前に学んだアサガオの栽培の経験を思い出している様子が書かれています。

栽培活動の中では、その過程で、野菜などの成長などを記録するためにワークシートを使うことが多くあります。

この单元でも、ワークシートをとり上げて、教科書にあります「『あい田ゆうき』さんは、アサガオを育てた時のことを思い出して書いていますね。皆さんも、自分の育てたアサガオのことを思い出して、あの時と比べてみましょう。何か気付くことはありませんか。」というような問い掛けをすれば、児童の中に、「前に学習したことを思い出して考えると、新しく発見できることがあるんだな。」など、既習事項を生かして活用するという素地を養うことができるのではないかと考えます。

佐々木委員 見える学習は、とても大切だと思います。総合一覧の中の特に東書、教出、啓林館に注視して比較してみました。文字や写真の配置なども含めて東書に良い特徴があると思いました。

森 尾 委 員 観点3で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容について説明されました。生活科は、幼児教育から小学校への円滑なつながりに大切な教科だと思いますが、そうした工夫の特徴がありましたら、具体的に教えてください。

清 水 校 長 それでは、教科書を基に御説明します。

まず、東書の上巻2、3ページを御覧ください。吹き出しで、「ほいくしょとおなじだね。」や、「ようちえんやほいくしょこどもえんではどんなことをしていたのかな。」というように、入学前の生活を思い出させるような工夫が設けられています。

次に、教出の上巻、4、5ページを御覧ください。「にゅうがくまえからしていたよ。」として、園・所等での生活の様子を表すイラストが掲載されています。

次に、啓林館の上巻、2、3ページを御覧ください。「にゅうがくまえはどんなことをしたのかな?」という問い掛けの基に、入学前の生活の様子がたくさん

写真で示されています。このように、小学校で始まる新たな学習は、園・所等時代からのものが引き続いて延長上にあるんだということを感じられる工夫が見られます。そのことによって、児童が安心して学習に取り組むことができると考えます。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、生活については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、生活については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。
ここで15分休憩を取ります。
(休憩)

教 育 長 続いて、音楽について選定委員からの説明をお願いします。

曾 根 校 長 音楽の総合所見一覧について報告を行います。資料は8ページです。

音楽は、教出、教芸の2者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

「歌唱」における発声のポイントについて、教出は、第3学年から示しているのに対し、教芸は、第1学年から全学年にわたって「歌声ルーム」のコーナーが設けられ、発達段階に応じた系統的な指導ができるようになっていきます。また、子供たちがイメージしやすいよう写真や図を使ったり、発音や発声の具体的な方法が示されていたりするなど、具体的で分かりやすくなっています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

「音楽づくり」の学習において、教出、教芸ともに、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫として、音遊びの活動が、題材の導入に位置付けられています。中でも教芸においては、学習手順の中で音楽づくりの視点が複数提示されており、子供たちの主体的な活動を引き出すような工夫があります。また、学習活動を「考える」や「見つける」「つくる」などのマークで示し、子供たちに「何をどのように学ぶか」を具体的に捉えさせることができ、主体的な活動につなげる工夫が見られます。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

教出、教芸ともに、題材ごとに音楽を形づくっている要素が示されており、巻末には音楽を形づくっている要素をまとめたものが掲載されています。なお、教出には、中学年・高学年にメモ欄を設け、児童が気付いた要素を書き込むなどして、より学習を深めやすい工夫がされています。

以上述べましたように、教芸に良い特徴が多いと考えます。

以上で、音楽の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる。)

- 教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。
- 吉 中 委 員 観点1について、発声の扱いについて説明がありました。音楽の授業では、「歌う」活動が多いと思いますが、発声については苦手意識を持つ子供もいるのではないかと思います。発声の扱いについて、特徴をもう少し詳しく説明してください。
- 曾 根 校 長 発声の扱いにつきましては、扱い方に違いがありますが、両者とも示されております。
- 教出は、第3・4・6学年に「歌声」等のコーナーを設けて、具体的に説明しています。
- 教芸は、第1学年の21ページを御覧ください。「歌声ルーム」のコーナーがございます。この「歌声ルーム」に関しましては、第1学年から第6学年までの全ての学年に掲載されております。
- 第1学年では、「うえの おくの はと、したの おくの はを すこし はなして、あかるい かおで うたいましょう。」と写真付きで分かりやすくポイントを示しております。同じく教芸の第4学年では「歌声ルーム①」として、「あくびをするような感じで、首やのどをリラックスさせましょう。お腹から頭のとっぺんに向かってまっすぐ息を送るイメージで歌いましょう。」とイラストを使って分かりやすく示されています。さらに、教芸の第6学年の教科書27ページには、「変声期の歌い方の工夫」として「変声期が始まって声が出しにくいと感じる人は1オクターブ下げるなど、無理のない歌い方をしましょう。」というように、それぞれの学年に応じて系統性を重視した示し方がされています。
- 吉 中 委 員 実際に教科書で示していただいて、発達段階に合わせて系統性を重視して丁寧に説明されているのがよく分かりました。
- 観点2の教芸には、音楽づくりの視点が複数提示されていると説明がありました。第2回の選定委員会でもその具体について質問が出ていましたが、複数提示されることで、「主体的な学習を促す」ことにつながるか、詳しく説明してください。
- 曾 根 校 長 教芸の第1学年の29ページを御覧ください。リズムをつくる学習では、1年生の場合、リズムを言葉に置き換えて、「おなじことばをくりかえしたり ちがうことばを くみあわせたり してできるリズムのおもしろさをたしかめましょう。」や、「どのことばでつくとおもしろいかんじのリズムになるかかんがえてつくりましょう。」といった内容が示されています。考え方について、「おなじことばのくりかえし」や「ちがうことばをくみあわせる」など、子供たちに視点を複数示すことで、個々の子供たちが段階を踏みながら無理なく音楽をつくることができます。一つ一つの段階を達成することによって、子供たちが成功体験を重ねて自信を付けていくことができます。その結果、主体的な学習につながると考えます。
- 吉 中 委 員 一つ一つ段階を踏みながら、それによって成功体験を重ね、そして主体的な学習につながるということですね。
- 説明を受けまして、教芸に良い特徴が多いと思いました。
- 教 育 長 ほかに御意見はありませんか。
- (なしの声)

- 教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、音楽については教育芸術社の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)
- 教 育 長 御異議なしということで、音楽については教育芸術社の教科用図書を採択することに決定されました。
続いて、図画工作について選定委員からの説明をお願いします。
- 大 窪 校 長 図画工作の総合所見一覧について報告を行います。資料は9ページです。
図画工作は、開隆堂、日文の2者から発行されています。
本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。
一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。
両者とも、題材ごとに使用する材料や用具等が分かりやすく表記されています。学習指導要領解説では、様々な学習場面で児童が材料や用具を扱う機会をつくり、十分に慣れ親しむことができるようにすることが重要であり、児童が経験したことがある材料や用具であっても、安全な扱い方について確認するとともに、児童の実態に合う材料や用具を扱うよう配慮することが大切であると示されています。
また、両者とも、資質・能力の3点についてキャラクターやマーク、文で示されており、特に、開隆堂は、単元における重点内容について下線や色を変えるなど、視覚的にも分かりやすく表記しています。また、巻末にICT機器の活用例等がどの学年にも掲載されていることで、タブレット端末を一つの用具として捉え、それぞれの学年に合った内容で活用できるようになっています。
二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。
両者とも、各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文が示されています。
特に、開隆堂は、全ての題材において、タブレット端末等で導入動画が視聴できるように二次元コードが示されており、児童の興味や関心、意欲が高まることが期待できます。鑑賞の特設ページでは、構図の似ている作品を比較させたり、表し方の違いに着目させたりする文が示されており、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。
三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。
両者とも、児童が関わり合う活動を取り扱い、言語活動を促す文や児童の活動の様子が分かる写真や対話が示されており、対話を促す工夫が見られます。
特に、日文の各上巻には、作品を見て感じたことや考えたことを友達と話し合う活動が示され、言語活動が充実するよう工夫されています。
以上述べましたように、開隆堂に良い特徴が多いと考えます。
以上で、図画工作の説明を終わります。
- 教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる。)
- 教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。
- 森 尾 委 員 絵を描いたり作品を作ったりすることに苦手意識のある児童もいると思うので

すが、そういった児童がスムーズに活動を始められる工夫はありますか。

大窪校長 教科書を見ながら、御説明させていただきます。開隆堂1・2年上の28ページをお開きください。「スタンプぺったん」という題材ですが、題材名の下に「えのぐをつけたらどんなかたちになるのかな。みんなでうつすともっとたのしい。」と示されています。続いて、日文1・2年上の28ページをお開きください。「ぺったんコロコロ」という題材ですが、これも「いろいろなざいりょうでぺったんしたりコロコロしたり。どんなかたちができるかな。」と示されています。このように、どちらの教科書にも、活動のきっかけとなる文が示されていることにより、図画工作に苦手意識のある児童にとっても、活動への関心を高めるきっかけとなると考えられます。

また、開隆堂5・6年下の8ページの二次元コードを読み込んで導入動画を御覧いただきたいと思います。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

この導入動画によって、児童が学習の見通しを持ったり、活動のヒントにしたりすることができると思います。開隆堂では、全ての題材においてタブレット端末等で導入動画が視聴できるように、二次元コードが示されています。

森尾委員 導入動画がどの学年でも視聴できるということで、タブレット端末を活用した現代の時代に応じたものだと思います。説明のありましたとおり、開隆堂が良いかと思います。

吉中委員 開隆堂の導入動画については、理解しました。日文にも二次元コードがあるようですが、どういった内容でしょうか。

大窪校長 日文には、導入動画が視聴できるような二次元コードはありませんが、用具の使い方動画や作家インタビュー、360度鑑賞作品などの様々なコンテンツを利用できるような二次元コードが掲載されています。

なお、開隆堂においても、導入動画だけではなく、今御説明しました日文のようなコンテンツも設けられています。

佐々木委員 他の教科でも、児童が二次元コードを読み取って学習に生かすなど、ICT機器の活用について説明がありましたが、図画工作ならではの、ICT機器の活用について教えてください。

大窪校長 どちらの教科書にも、ICT機器の活用例が掲載されています。両者の教科書を見ながら御説明いたします。まず、日文3・4年上の63ページをお開きください。日文では、「写真を活動に生かす」として、作品や活動を記録に残したり、活動場所を写真に撮ってどんなことができそうか話し合ったり、いいなと感じたものを集めたりする活動が紹介されています。次に、開隆堂1・2年上の63ページをお開きください。タブレット端末でできる活動として、「あつめる・しらべる・あらかわす・みる・ほぞんする」の五つの視点を示しています。続きまして、開隆堂3・4年上の63ページを御覧ください。3・4年上では、五つの視点の中から「あつめる」活動として、表したいものを見つけて写真に撮ったり、「あらかわす」活動として、タブレット端末を使って作品に表したり、「ほぞん」する活動として、活動の様子を撮影して記録に残したりする活用方法が紹介されています。このように、開隆堂では、どの学年にも巻末にICT機器の活用方法が掲載されていることで、それぞれの学年に応じて効果的にICT機器を活用すること

ができると考えます。

佐々木委員 今、両者の比較を説明していただきまして、開隆堂の方がより細かに扱われていると思います。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、図画工作については開隆堂の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、図画工作については開隆堂の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、家庭について選定委員からの説明をお願いします。

木村校長 家庭の総合所見一覧について報告を行います。資料は10ページです。

家庭は、東書、開隆堂の2者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

現行の学習指導要領では、家庭科の資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、家庭科の見方・考え方、すなわち、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることが重要であると示されています。「生活の営みに係る見方・考え方」とは、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働の視点、健康・快適・安全の視点、生活文化の継承・創造の視点、持続可能な社会の構築等の視点、この四つの視点で捉え、より良い生活を営むために工夫することです。

そのため、どの者も各題材の始めのページの部分に、「生活の営みに係る見方・考え方」の四つの視点にマークや吹き出しを示し、児童に意識させる工夫が見られます。

中でも、開隆堂は、見方・考え方の四つの視点を意識した実践例が具体的に示されているページがあり、児童がどのような実践をすればよいかイメージしやすい工夫があります。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

どちらの者も、学習の時期や季節を考えて題材が配列されています。

中でも、開隆堂は、第5学年の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」、第6学年の「工夫して生活に生かそう」というテーマがあり、そのテーマの下、ストーリー性を考慮した題材が配列されています。また、初めて家庭科を学ぶ第5学年は、題材が細かく構成・配列され、スモールステップで学習を積み上げられるよう、第6学年は、5学年での基礎・基本を基に、応用させながら生活に生かしていく力が身に付くよう、配列が工夫されています。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

どちらの者も、本文の書体はユニバーサルデザインフォントが使用されており、内容ごとに配色が統一され、見開き右側にインデックスとして番号や内容が示されています。

中でも、開隆堂は、内容ごとにどのページにも統一された色が付されているとともに、見開きの定位置にインデックスとして題材番号と内容が示されおり、学習内容を児童に捉えさせやすい工夫があります。

以上述べましたように、開隆堂に良い特徴が多いと考えます。

以上で、家庭の説明を終わります。

教 育 長 少時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 観点4のユニバーサルデザイン等に関する配慮について、総合所見にはユニバーサルデザインフォントや配色の統一などが書かれていますが、家庭科においては、右利き、左利きも重要なポイントになると思います。両者に違いや特徴はありますか。

木村校長 教科書を見ながら説明させていただきます。

東書の137ページ、開隆堂の148ページをお開きください。

まず、東書ですが、包丁で材料を切る時の右利きの場合、左利きの場合が写真で示されており、その写真の所に説明が付けられています。

一方、開隆堂では、写真が右利きと左利きがありまして、その間に両方合わせた説明が示されています。それと同じように東書は次のページになりますが、ジャガイモの皮むき、芽を取るという内容が開隆堂にも148ページに同じように示されております。東書をもう1ページめくっていただきますと、針と糸で縫う場面が右利きと左利きで示されておりますし、その次のページには布を裁つ場面の右利き、左利きが示されております。開隆堂にも同様に151ページに針と糸を縫うという場面と、裁ちばさみで布を裁つ場面が右利き、左利きで示されておりました、両者とも個に応じた指導が可能かと考えます。

森尾委員 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」の説明で、「生活の営みに係る見方・考え方」の四つの視点を意識した実践例があるという説明がありましたが、例えば、どのような例が示されているのか教えてください。

木村校長 開隆堂の87ページを御覧ください。

真ん中辺りに四つ葉のクローバーの絵があります。そこの赤、黄、青、緑で示されている四つが、「生活の営みに係る見方・考え方」の四つの視点です。

その下に、例えば「協力」の視点では、家庭の仕事を家族と一緒にやる。「健康・快適・安全」視点では、ごみ捨てを分担する。「生活文化」の視点では、季節の行事を家族と共にできる時間をつくり、「持続可能な社会」という視点では、お風呂が沸いたら続けて順番に入るようにする、というように、ただ視点としてだけでなく、それをこの題材で具体的にどのようなことを目指すのかということが具体例で示されており、児童にとって意識しやすいものとなっていると考えます。

森尾委員 子供たちにとって、持続可能なイメージが大変しやすいと思います。そういった具体的な事例が示されており、大変良いと思います。

吉中委員 今の説明を聞きまして、先ほどの四つの視点を意識した実践例、「生活の営みに係わる見方・考え方」は小学生にはすごく難しいと思うのですが、この実践例があることでイメージしやすいなと思いました。そういった点で、開隆堂に良い

特徴が多いかと思えます。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、家庭については開隆堂の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、家庭については開隆堂の教科用図書を採択することに決定されました。
ここで15分休憩を取ります。
(休憩)

教 育 長 続いて、保健について選定委員からの説明をお願いします。

税 所 校 長 保健の総合所見一覧について報告を行います。資料は11ページです。
保健は、東書、大日本、大修館、文教社、光文、学研の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

実習に関する記述について、けがの手当てに関する実習事例として、東書、大修館、光文は、手当ての方法の順序が番号で示され、イラストと言葉で分かりやすく説明されています。中でも東書は、自分でできる正しい手当ての方法を調べさせる活動や、実習後に3段階で自己評価を記入する欄が設けられており、より実践的な学びにつなげる工夫がされています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

導入方法については、東書は学習のイメージとゴール、目標の図、大修館は著名人へのインタビュー形式、光文は4コマ漫画で示し、見通しを持たせる工夫がされています。

まとめや振り返りの工夫については、東書、大日本、光文は、学習内容ごとに3段階でチェックする箇所と自由に記述する欄が設けられています。また、関連するページを記載し、学習したことが確認しやすいよう工夫がされています。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

本文記述と関係付けたイラスト、写真、グラフ、図等の掲載内容について、東書、大日本、大修館、光文は、「体の発育・発達」の学習の導入において、乳幼児期の手や足など、原寸大の写真を掲載し、現在の自分と比較させることで、自らの成長に気付かせる工夫がされています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、保健の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 基礎・基本の定着で、東書は、けがの手当てについて実践的な学びにつなげる工夫がされていると説明がありましたが、具体的に該当ページを示して説明して

ください。

税 所 校 長 東書の5, 6年生, 40ページを御覧ください。東書では, ステップ2「調べる・解決する」において, 自分でできる正しい手当ての方法を調べ, 実習する活動を位置付けています。また, 41ページには, 実習後に, 適切な手当てができたかを3段階で自己評価する欄が設けられています。このように, けがの手当ての方法を知識として身に付けるだけでなく, 自分で調べ, 実習し, 振り返る活動を通して, 児童がより実践的に学ぶことができると考えます。

吉 中 委 員 該当ページで説明していただいて, 特徴がよく分かりました。

保健は, 生涯にわたって心身の健康を保持増進するためにも, 自己の課題を見付けて主体的に取り組む力を付けるということがとても大切だと思います。観点2の主体的な学びとなるための工夫の方法にある「単元ごとの導入方法」について, 具体的に該当ページを示して説明してください。

税 所 校 長 先ほどの説明で触れました東書, 大修館, 光文の5・6年生を見ていただきながら御説明します。

まず, 東書の5・6年生, 4ページを御覧ください。小単元のつながりがハートで示してあり, 目標として単元のねらいが記載されています。他の単元の始めも同様に小単元のつながりが図で示されており, 目標として単元のねらいが記載されています。

次に, 大修館の5・6年生, 7ページを御覧ください。大修館では, 著名人のインタビュー形式で学習内容に触れ, どのようなことを学習するのかという見通しを持てる工夫がされています。このページは藤井聡太名人, ほかに羽生結弦選手のインタビューも掲載され, 興味・関心を高める内容となっています。

最後に, 光文の5・6年生, 7ページを御覧ください。光文は4コマ漫画のストーリー形式で学習内容を学ぶ意義を伝え, なぜ学ぶのかを理解し, 主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

このように, 導入で学習の見通しを持たせる, 興味・関心を高める, 学ぶ意義を理解させるなどの工夫が, 課題を見付け主体的に取り組むことにつながると考えます。

吉 中 委 員 よく分かりました。

佐々木委員 令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は, 5類感染症に移行されました。先生方は, これまで3年余の間, 様々な制約の中で, 工夫を凝らしながら感染拡大の防止と教育活動の継続に取り組んでいただき, 感謝しています。

教科書に新型コロナウイルス感染症についての掲載はありますか。ある場合, その扱いについて教えてください。

税 所 校 長 新型コロナウイルス感染症については, どの発行者にも発展的な扱いとして掲載されており, イラストや写真, 新聞記事といった資料等を掲載し, 感染を予防することや, 正しい情報を確認しながら適切な行動をとることなどが示されています。

また, 東書, 大日本, 光文は, 資料付近に二次元コードを設け, 関連する動画を見られるようになっていきます。

それでは, 東書の5, 6年生, 53ページを御覧ください。二次元コードによる動画が掲載されていますので, 実際に見ていただきたいと思えます。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

このように、新しい感染症の変遷や、新型コロナウイルス感染症による社会への影響、ワクチン開発等について分かりやすく説明されており、児童の理解を深める工夫がされています。

佐々木委員 総合的に勘案すると、東書に良い特徴があると思います。
教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、保健については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、保健については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、英語について選定委員からの説明をお願いします。

森田校長 英語の総合所見一覧について報告を行います。資料は12ページです。
英語は、東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするためには、児童が学習する目的を理解し、学習の見通しを持たせることが大切です。各者とも、単元の始めの見開きページを活用して、単元名や単元のゴールを掲載しています。それに加え、東書、開隆堂、光村、啓林館は、単元のゴールに向けた学習の「めあて」が掲載されており、児童が見通しを持って学習に取り組めるような工夫があります。

さらに、東書は、単元導入時に二次元コードを活用し、単元終末の言語活動のモデル動画を視聴する活動が設定されているため、児童が具体的なゴールイメージを持ちやすく、主体的に学習に取り組むことが期待できます。

二つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

各者とも、巻末資料や付録等の工夫がされています。学習内容と関連した単語が掲載された絵カードやアルファベット表等が添付されています。加えて東書、開隆堂、三省堂、光村は、4線表記の単語辞典が別冊で付いており、単語を調べたり、書いたりする活動で効果的に活用することができます。東書、開隆堂、光村の単語辞典には、掲載されている単語だけでなく、自分が調べた単語を書き加える欄があります。さらに東書は、二次元コードを活用すると、単語辞典の紙面に掲載されていない単語も多数見ることができ、児童が必要に応じて単語を調べたり、書いたりすることができ、児童一人一人の実態に応じた学習を進めることができると考えます。

三つ目は、観点5の「言語活動の充実」です。

英語の学習では、児童が自分の考えや気持ちを伝える必然性のある、目的・場面・状況等を明確にした言語活動を設定することが重要です。各者とも、児童に

とって身近な暮らしに関わる学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が設定されており，児童の実態に応じて効果的な授業展開を工夫しやすいと考えます。特に，東書は，自分たちの身近な学校から，海外の学校へと場面を変え，自然と視野を広げるとともに，英語を使って自分の考えや気持ちを表現する必然性を持たせる工夫があります。

以上述べましたように，東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で，英語の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので，教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 小学校英語において，たくさんの英語に触れさせることが有効だと思いますが，子供たちが，英語に触れる活動を収録した二次元コードは，どの者の教科書にも掲載されていますか。また，二次元コードを活用した活動には，どのようなものがありますか。

森田校長 どの者の紙面にも，二次元コードが掲載されており，歌やチャンツなどの，音声に慣れ親しむ活動や，アニメーションを視聴する活動，聞く活動，会話の続け方や資料や文字に慣れ親しむ活動等，多様な活動が収録されています。

二次元コードを活用することで，授業で児童一人一人の実態に合わせて学習を進めることができるだけでなく，家庭学習にもつなげることができると考えます。

中でも，東書の二次元コードの活用方法は特徴的です。例えば，5年生の8ページを御覧ください。ページ上部に，「Our Goal」として二次元コードが設けられています。こちらを読み込みますと，単元の学習後に期待される児童の言語活動の例を視聴することができます。

(タブレット端末を操作し，プロジェクターで映す。)

このように，英語に慣れ親しむだけでなく，学習の見通しを持たせるなど，多様な活用が二次元コードで行うことができます。

佐々木委員 総合所見一覧の説明の観点を読むと，二次元コードの活用があり，多様な活用が大いに期待できると思いますので，東書が良いかと思えます。

森尾委員 選定委員の説明の中で，各者とも，巻末資料や付録等が充実しているとありました。中には，別冊が付いている者もあるとのことでしたが，具体的にどのような内容なのか教えてください。

森田校長 別冊付録があるのは開隆堂，光村，東書の3者でございます。

まず，開隆堂は5，6年生があるのですが，5年生の27ページを御覧ください。数多くの英単語がイラストと共に掲載されています。また，ページ下段を御覧いただきますと，「自分で単語を書き足そう。」という吹き出しがあるのですが，児童が自ら調べた単語をここに記入できるようになっております。

次に，光村ですが，こちらも5，6年生があるのですが5年生，17ページを御覧ください。自分で単語を書き足す欄が，各カテゴリーごとに設けてあります。

最後に，東書ですが，こちらは1冊しかありません。29ページを御覧ください。こちらも，今述べました2者と同様の工夫が見られます。また，各カテゴリーの右上を御覧いただきますと，二次元コードが付いています。こちらをタブレット端末で読み取ります。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

ここに映っているのは紙面に載っていない英単語になります。このように、紙面には載っていない英単語を調べることができるようになっており、児童の主体的な学習を促しやすいと考えます。

森尾委員 単語を理解するための一つの方法として活用するもの、ということで理解しました。

吉中委員 巻末ページがあったりとか、二次元コードのコンテンツが付いているとか、私は東書が良いと思いました。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、英語については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、英語については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、道徳について選定委員からの説明をお願いします。

山田校長 道徳の総合所見一覧について報告を行います。資料は13ページです。

道徳は、東書、教出、光村、日文、光文、学研の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

各者とも、オリエンテーションのページを設けられ、学習の流れや学習活動など道徳科の学び方等について示されています。中でも東書、教出は、二次元コードやデジタルコンテンツなどの利用方法等も示され、タブレット端末の効果的な活用が期待できます。また、発問について、学習指導要領解説では、児童が多面的・多角的に考えることができる問い、自分との関わりで道徳的価値が理解できる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされることが求められています。

各者とも、発問の示し方については、各教材に発問を掲載しています。中でも、東書、日文、学研は、発問が精選されており、多様な学習展開を仕組むことができますと考えられます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

道徳科の特質を生かした授業を行う上で、各教科等と同様に問題解決的な学習や体験的な学習等を有効に活用することが重要です。

各者とも、問題解決的な学習過程や体験的な活動を促す具体例等を示しています。

中でも、東書、日文、学研では、問題解決的な学習ができる教材の終わりに、学習過程の例が分かりやすく示されており、問題解決に向けた学習展開が期待できます。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

巻頭には、各者とも目次を示していますが、中でも、東書、教出、学研は、目次とは別に、教材を四つの視点で整理し、学習する視点が分かりやすくなってい

ます。

また、巻末には、各者とも内容項目別教材一覧に加え、それぞれ工夫した資料が掲載されています。中でも、東書は「考えるためのツール」として、4年生以上に心情円が付録として用意されています。また、全ての教材の冒頭に二次元コードが示されており、巻末の二次元コードから「心のメーター」を活用することも可能となっているなど、児童がデジタルコンテンツを活用して、学習をより効果的に進められる工夫がなされています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、道徳の説明を終わります。

教 育 長 少時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 観点1の発問についてですが、主題に関わる発問、中心発問、自己を見つめる発問と三つの発問がありますが、それぞれどういったものなのか教えてください。

山 田 校 長 主題に関わる発問とは、その教材に児童が入り込むきっかけとなるような問いで、中心発問は、その教材で一番考えさせたい道徳的価値に最も迫ることができる発問。自己を見つめる発問は、道徳的価値に照らして、これまでの自分を振り返り、これからの生活に生かしていきたくなるような発問です。

吉 中 委 員 それぞれの発問には役割があるということですね。子供たちがしっかりと自分の考えを持ちながら学習を進めることができるように、発問がしっかり設定されているということがよく分かりました。

道徳においても二次元コードのコンテンツが示されており、ICT機器がどんどん活用できる印象を持ちました。その中で観点4には、先ほどの説明の中で、東書は、全ての教材の冒頭にデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されているとありますが、道徳の学習でどのように活用するのか、詳しく教えてください。

山 田 校 長 実際に教科書を見ながら説明させていただきます。東書の第5学年、9ページの「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を御覧ください。

(タブレット端末を操作し、プロジェクターで映す。)

ここに二次元コードがあります。この二次元コードは全ての教材の冒頭に掲載されており、この二次元コードをクリックしますと全ての教材で見ることができるようになっております。例えば「泣いた赤鬼」ですが、ここにコンテンツが三つありますが、一番上の「ろうどく」では、教材の文章をプロの声優の音声で聞くことができます。二つ目に「スライドショー」というコンテンツがあります。こちらをクリックしますと、紙芝居のように、場面絵に合わせて朗読を聞くことができます。さらに、教材によっては、字幕が表示されるものもあるため、児童の実態に合わせて教材の提示の仕方を工夫することができるということと、児童がもう一度この教材を読み返してみたいと思ったときに、自分でスライドショーを見たり朗読を聞いたりすることで、学習したことを振り返ることができ、道徳で学んだことを更に深めたり広げること、これからの自分のより良い生活に生かすことができるのではないかと考えます。

吉中委員 ICT機器を活用することによって、教科書の文字だけではなく、朗読の音声であったり、スライドであったり、子供の実態に合わせた使い方ができるということがよく分かりました。今までの説明や総合所見から、東書に良い特徴が多いかと思えます。

教育長 ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、道徳については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、道徳については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

それでは、以上で、令和6年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））につきましては、全て採択が決定しました。

採択は以上ですが、委員さんから、全体を通して御意見等はありませんか。

吉中委員 今後に向けての意見です。今日拝見させていただいた総合所見の中にも、ユニバーサルデザインの視点に関する記載がある種目と、ない種目があります。現在様々な子供たちの実態がある中で、今後は、可能であれば全種目を通して、ユニバーサルデザインの視点で調査・研究をするということも必要になっていくのではないかと思います。

教科書は子供たちが日常的に使うもので、個々の子供たちには様々な実態があります。色の工夫や文字のポイント数やフォント等についても調べてあると良いと思いました。

教育長 ただいま、ユニバーサルデザインの視点での調査・研究を次回からということで御意見を頂きましたが、この御意見について事務局から何かありますか。

木屋課長 頂いた御意見につきましては、今後の調査・研究の観点・視点・方法を決定する際に、検討してまいりたいと思えます。

教育長 これについては、これから検討するというので、事務局にお願いしたいと思います。

ほかに御意見はありませんか。
(なしの声)

教育長 様々な教科用図書の報告を受けました。特に主体的に学ぶ取組という所はどうか、ということを重視しながら説明をしていただいたと思えます。特に主体的に学ぶということは大切なことなので、今後もしっかりと様々なものを活用しながらやってもらいたい。二次元コードもたくさんありましたが、効果的な活用をお願いしたい。

主体的な学びといいながら、やはり「基礎・基本の定着」、そこをしっかりとやりながら、主体的な学びにつなげていただきたいと思います。

是非、この教科用図書を使いながら、子供たちに最適な学びが行えるようお願いしたいと思います。

以上で臨時会を閉会します。

(16:17)

上記のとおり，会議の次第を記載して，その相違ないことを証するため，ここに署名する。

(教育長 寺 本 有 伸)

(委 員 森 尾 敬 介)

(委 員 佐々木 元)

(令和5年8月24日臨時会)